

第2期基本構想実施計画 骨子案のポイント (第1期からの主な変更など)

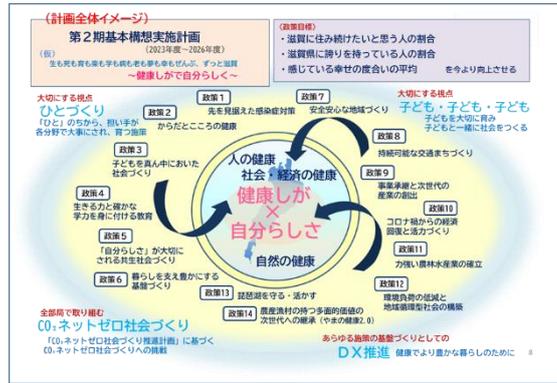
委員の皆様へのヒアリング内容の反映

皆様へのヒアリングでお聞かせいただいた内容を、今回の骨子案に反映。別添「基本構想審議会委員の皆様へのヒアリング内容より 骨子案への反映」をご参照。

前文(スライド3~6)、イメージ図(スライド8)

スライド3~6で、第1期実施計画にはなかった「前文」を入れて、第1期実施計画の検証や社会情勢の変化、第2期計画策定にあたっての方向性や思い、全体に通じる視点などを記載。あわせてスライド8に計画全体のイメージ図を入れた。

【イメージ図】  
(スライド8)



政策の柱(スライド10~14)と全体に通じる視点(スライド16~17)

健康しがを目指すための政策を14の柱にまとめ、その柱ごとに目指す方向性と施策の展開を記載。

【政策の柱より】スライド10~14

**政策3 子どもを真ん中においた社会づくり**  
目指す方向性

- 安全・安心な環境の中で子どもが生まれ育ち、誰もが安心して出産や子育てができるよう切れ目ない子ども・子育て支援を進める。
- 困難な課題を抱える子どもたちを社会全体で育む環境づくりをはじめ、「滋養の宝」である子どもを真ん中においた社会づくりを進める。
- 子どもが参画し、子どもの目線で、子どもと一緒に社会をつくる仕組みづくりを検討する。

施策の展開

- 生まれる前からの切れ目ない子育て支援
- 「滋養の宝」である子ども、若者を社会全体で応援
- 困難な課題を抱える子ども、若者を支える
- 子どもの目線で社会をつくる仕組みづくり

今後、素案を作成する段階で、ここに現状と課題を踏まえた施策の展開を文章で書き加えていくイメージです。

また、それぞれの施策を展開するための個別の事業をピックアップして、実施計画の別冊としてまとめていく予定です。

また、全体に通じる視点「ひとづくり」「子ども・子ども・子ども」、あらゆる施策に関わる「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現」「DX推進」の4つを、どの施策を展開するうえでも意識するものとして記載している。

【全体を通じての視点】スライド16~17

**全体に通じる視点**

**全体を通じて大切にす視点 ひとづくり**

社会全体で大切にす視点 ひとづくり

社会全体を通じて大切にす視点 子ども・子ども・子ども

**CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦**

【気候変動対策】「気候変動対策」を推進する

【CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けた挑戦】

【DX推進】

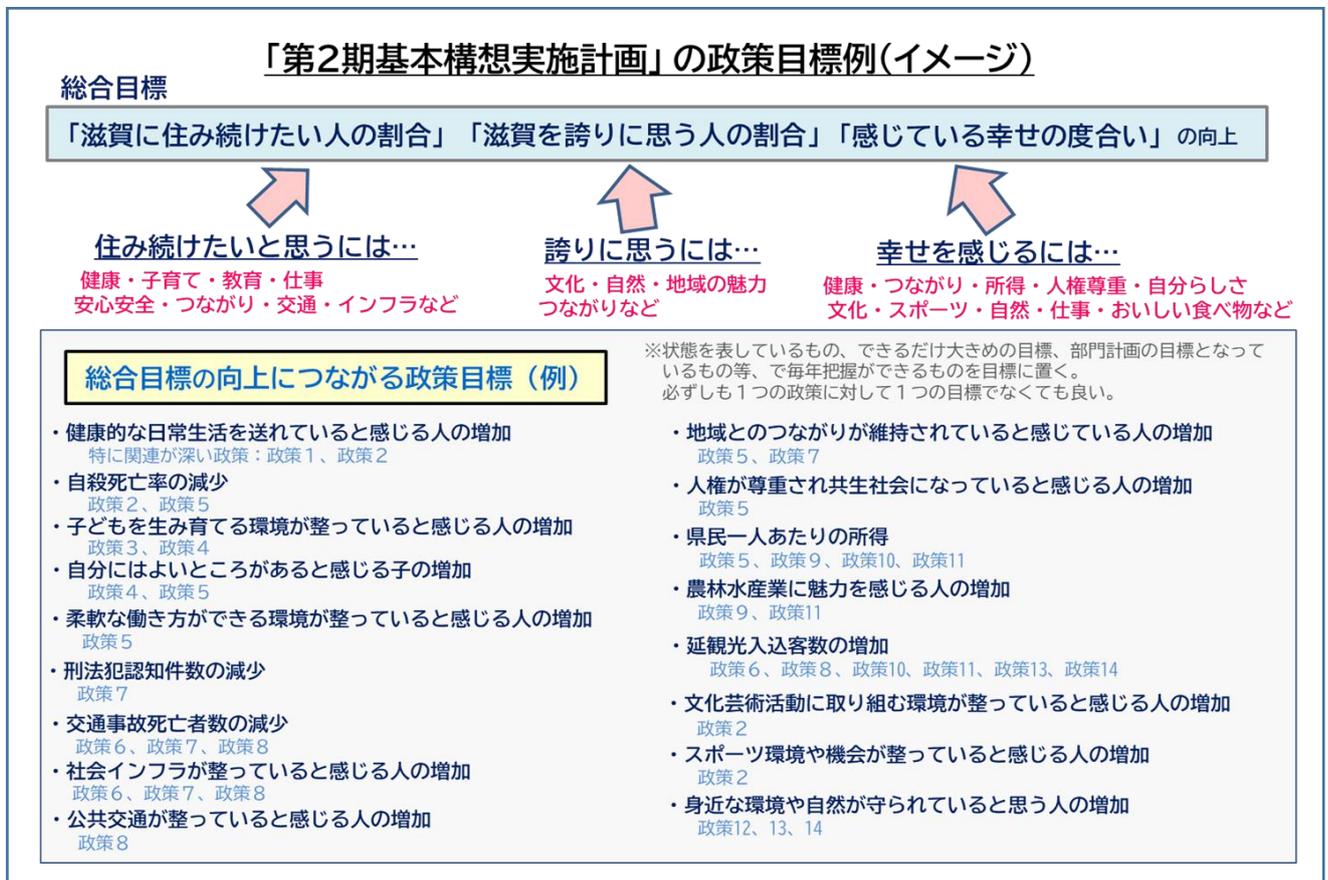
## 政策目標の見直し（スライド6）

第1期実施計画では、政策ごとに複数の数値目標を設定しており、全部で91個の政策目標があるが、第2期実施計画ではこれを整理しようと考えている。

総合目標として「滋賀に住み続けたい人の割合」「滋賀を誇りに思う人の割合」「感じている幸せの度合い」の向上という3つだけを設定し、その達成に向けた政策目標を10～20個程度設定するイメージ。設定する政策目標は原則「どんな状態を目指すか」を表すものとする予定。

※「〇〇の登録者を〇〇件に増やす」といった事業目標ではなく、原則「〇〇な人が〇〇%に増えている状態」を表すようなものを政策目標とするイメージ。（事業目標については、第1期実施計画同様、別に事業を定めてそこで進捗管理する。）

どんな政策目標を設定するかは、今後、素案を作成する段階で検討し決定していくが（骨子には入っていないが）、イメージは以下のとおり。



## 【今後のスケジュール】

現在「骨子案」について県庁内でも意見照会を行っているところ。庁内外よりいただいた意見等を踏まえ骨子案を修正したのち、今後、政策目標の設定や政策の展開の文章を書き加えて素案にまとめていく。

また、施策を展開するための主な事業を別にまとめて、それぞれの事業目標を設定し、最終的に「第2期基本構想実施計画」として今年度中にまとめていく。